

ジェルネイル被災地支援活動

被災地支援活動プログラム

Vol.2 「ジェルネイルで被災女性の心のケアを！」 2014年11月13日(木)

東日本大震災女性被災者の心のケアを目的とした「ジェルネイル施術プログラム」を第2回目となる11月13日(木)に行いました。

会場：陸前高田市 片地家仮設住宅集会場

施術者：参加9名／a 片地家仮設住宅 b 矢作小学校仮設住宅 c 諏訪仮設住宅にお住まいの住民

施術方①ネイルケア：4名（前回施術参加は3名・新規1名）

②ジェルネイル：5名（前回参加者は3名・新規2名※今回は長持ちする溶剤を希望）

ジェルネイル施術プログラム



カラーを施術前に確認



お仕事の関係で、あまり派手にネイルが出来ない方も綺麗に爪を磨いてもらい笑顔



ネイルテクニシャンは施術される方が持っている本来の色を引き出します



仕上がった爪を見せ合いました



会場ではネイルを通して仲良くなれ方も



施術後に緊張をほぐす為のマッサージ



仕上がりに大満足



遠くに住んでる娘達にジェルネイルをしてもらい綺麗になったお母さんを見せてあげたいと、とても楽しそうに話していました



離れている家族や、お友達に写真を送りたいとお互いのカメラで交互に撮影しあう場面も



どんな色にしますか？とネイルテクニシャンが聞くと「私は花が大好きで震災以降も仮設住宅に花をいっぱい飾っています。それなので大好きなお花を爪に描いて欲しい…」と一番好きな花をデザインに選ばれました



最初は一色だけのシンプルなデザインだけで良いと話していた方もお話しが弾むと何色も混ぜてとても楽しんでいました



震災で家を流され、身内や知人を亡くされ、今生きている事に複雑な想いを持たれている方から今回思い切って参加した理由に明るく前向きになりたい…という声も聞きました

ストレス検査・女性支援のアンケート実施

施術会場ではジェルネイル施術前後でストレス値がどの様に変化するかの検査（ストレスチェック／唾液アミラーゼ検査）をWHO（世界保健機関）への医療データ報告を目的とした活動を行いました。

前回行った検査時は人数が多く非常にリラックスした会場の雰囲気だった為、2回目となる今回は改めてネイル施術に特化した雰囲気を作り（国連の友女性スタッフは活動に参加させず）施術前後で検査を行いました。

また施術された方には女性支援に関するアンケートにもご協力頂きました。



ストレスチェック（唾液アミラーゼ検査）を施術前後で計測



被験者の9割の方が施術後に数値減少



ジェルネイルの施術を受けてもらった皆様にはアンケート調査にご協力を頂きました

ジェルネイル施術後の被災者メッセージ

洋服は控えめな色が好きなのですが、ネイルは明るい赤色にしてもらいました。早くお友達にも見せてあげたいです。とても気に入っています。

娘に私がネイルをしているのを見せたらきっと驚くと思います。離れた場所に住んでいるので写真を撮ってさっそく送ってみます。

お花が大好きなので、爪にお花を描いて頂きました。いつでも爪を見ればお花があり気持ちを明るく！って思えます。

長く漁港でお仕事をしていたので、手は荒れてネイルをするのは恥ずかしかったのですがキレイに色をつけて、見違えました。気持ちも若返って、外出したくなりました。



ネイルの力で年齢に関係なく女性の本来あるべき輝きを引き出せた活動となりました